

2025年度 第1回地域事業支援会議 茨城県士会版

日本作業療法士協会（地域社会振興部）における人材育成の現状について

2025年度の第1回目となる地域事業支援会議が、6月19日(木)にオンラインで開催され、選任者と聴講者合わせて172名の方にご参加をいただきました。当士会の選任者は、藤田、新堀（イキイキ地域づくり事業部）らが参加しました。

さて、2025年度より新生涯学修制度が始まりました。これからの時代の変化に対応できる作業療法士の育成に向けて、協会内各部署や他団体等とのさらなる連携の下で進める必要が出てきております。

地域社会振興部においても、地域で活躍できる作業療法士を育成するための研修システムの構築（2025年度重点活動項目）へ向けて、以下のように取り組みを進めております。これまで、地域支援事業参加・参画に向けて作成した成果物も続々と完成し、HPへ掲載しております。是非ご一読ください。

2025年度重点活動項目

● 地域で活躍できる作業療法士を育成するための研修システムの構築（教育部・地域社会振興部）

1. 実践者育成（今、地域で活躍できる作業療法士の増加）

- ①地域事業に参画するための知識や方法の周知
- ②地域事業に実際参画するためのきっかけや準備の支援

2. 参画を支える環境支援

- ①市町村担当者、士会内マネジメント担当者の配置促進
- ②市町村担当者や士会マネジメント担当者のマネジメント力の向上
- ②市町村担当者や士会マネジメント担当者の育成研修

3. 地域共生社会への寄与に向けた他領域対応準備

- 上記1. 2をプラットフォームに高齢者だけでなく精神、発達等、多領域への段階的な研修システム構築

4. 本会教育制度との連動

- 協会教育部が進める、養成教育、卒後の生涯学修制度、その先に「地域で活躍できる作業療法士の人材育成」が準備されている、一貫通貫した教育と人材育成の仕組みを構築する

介護予防・日常生活支援総合事業
短期集中予防サービス（サービス・活動C）
実践事例集 Vol.1

NEW



短期集中型サービスの参加促進事業

一般社団法人 日本作業療法士協会

地域社会振興部 地域事業支援課 地域包括ケア推進班



地域包括ケアシステム参画の手引き
第2版



保健事業と介護予防の一体的実施事業
作業療法士参画マニュアル



地域支援事業参画のための
士会マネジメントに関するQ&A

これまで作成した成果物も
是非ご覧ください。



各事業の報告

1. 短期集中予防サービス促進事業

令和6年度から作成を進めていた実践事例集が執筆者の皆様のご協力のもと完成いたしました。心より感謝いたします。令和7年度からは、医療機関から地域活動へ移行できた事例集の作成を予定しています。

2. 市町担当者配置事業

士会マネジメントモデル事業について

全国の担当者配置率は66.2%（2024.9）→71.9%（2025.3）と増加しております。引き続き担当者配置を進めるとともに、市町村担当者の活動と士会マネジメントの後方支援を行っていきます。

編集後記

地域での作業療法実践には、様々な困難が伴うことも少なくありません。今回の地域事業支援会議では、そうした困難に立ち向かうための知恵や工夫が多数共有されました。本ニュースレターが地域で奮闘する皆様へのエールとなり、また新たな解決策を見つけるヒントとなれば幸いです。今後も皆様の活動を支援できるよう、士会として尽力して参ります。

茨城県士会 担当：藤田